

美しい多摩川フォーラム・第3回運営委員会議事録

日 時 : 平成24年3月14日(水)15:00~16:30

会 場 : 立川グランドホテル(JR立川駅北口)3階サンマルコ

出席者 : 会長 細野 助博 中央大学大学院公共政策研究科教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
副会長 平野 啓子 語り部、大阪芸術大学教授
副会長 森田 昇 青梅信用金庫 理事長
委員 上本 真衣 東京都産業労働局 観光まちづくり係 主任
下重 喜代 (有)ネイチャー&カルチャー代表取締役
山崎 充哲 ガサガサ水辺の移動水族館 館長
栗原 秀二 (社)大多摩観光連盟 専務理事
福島 悦重 青梅市 建設部 計画調整担当 主査
小林 誠 東京急行電鉄株式会社 都市生活創造本部ビル事業部
二子玉川開発部統括部 専任主幹
渡辺 俊雄 東京都建設局 西多摩建設事務所 管理課長
馬淵 広三郎 (公財)とうきゅう環境財団 常務理事・事務局長
山田 誉 大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当 主査
武井 良仁 京王電鉄(株) 広報部長
松川 敦 (公財)東京都農林水産振興財団
花粉の少ない森づくり運動担当課長
宮坂 不二生 青梅信用金庫 特別アドバイザー
アドバイザー 澤田 實 東京シティガイド
オブザーバー 村岡 秀樹 アルピン株式会社
吉澤 みゆき アルピン株式会社
横内 恒雄 株式会社 JTB 法人東京 西東京支店 営業担当部長
(敬称略、以下同様)

配布資料 : (資料 1)第9回企業フィランソロピー大賞「特別賞:水辺のコミュニティ創造賞」受賞式
(資料 2)第46回青梅マラソン大会にブースを出展
(資料 3)多摩川夢の桜街道:桜の札所マップ完成
(資料 4)東北・夢の桜街道:桜の札所マップ、小冊子完成
(資料 5)東北・夢の桜街道推進協議会(美しい多摩川フォーラム)主催「東北・
夢の桜街道~桜の札所・八十八ヵ所巡り」パネル展
(資料 6)食と文化の交流イベント
(資料 7)東北・夢の桜街道ホームページ完成
(資料 8)第4回美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展&野尻明美氏の
淡彩スケッチ原画展
(資料 9)多摩川夢の桜街道:桜の札所巡り事業
(資料 10)東北・夢の桜街道:桜の札所巡り事業
(資料 11)第1号議案:平成23年度事業計画決算見通し(案)
(資料 12)第2号議案:平成24年度事業計画・同予算(案)
(資料 13)第3号議案:平成24年度総会の開催日程等について(案)

1. 開会（運営委員会成立の確認、資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成23年度第3回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて45名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。それから本日はじめて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

（東京都建設局 西多摩建設事務所 管理課長 渡辺 俊雄 様）

老沼の代理で参りました渡辺と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 細野会長挨拶

皆さま、本日はお忙しい中、お集まりいただき有り難うございます。美しい多摩川フォーラム平成23年度・第3回の運営委員会でございます。天候は寒いですが、当フォーラムは新しい試みがどんどん出てきていますので、すでに春ではないかと思えます。この元気が全国に伝わるように、これから運営委員会を始めたいと思えます。

それでは、事務局より第4回美しい多摩川フォトコンテスト表彰式の準備をお願いします。

3. 第4回美しい多摩川フォトコンテスト表彰式

（事務局）

それでは、第4回美しい多摩川フォトコンテスト表彰式を始めます。

（部門毎に、細野会長が表彰状を授与。）

ここで、受賞者を代表しまして、各部門の最優秀賞の方に一言お願いいたします。

（多摩川の風景・人々部門 最優秀賞 河内 八重子 様）

このたびは、過分な賞をいただき、また、このような素晴らしいお席にお招きいただき、有り難うございました。私が撮影した写真は、多摩川支流の秋川で、被写体の女性は、小さい頃から水と親しんでいる方でした。多摩川は、私たちの生活と密接な関係にあります。これからも、多摩川を見つめながら、撮影してまいりたいと思えます。有り難うございました。

（多摩川夢の桜街道部門 最優秀賞 松永 正行 様）

私が撮影した写真のうち、入賞した作品は、府中市押立町の、自宅からわずか100mの地点で撮影しました。一方、最優秀賞の作品は、稲城大橋から撮影した写真で、やはり自

宅から300mほどの地点です。桜の写真撮影には大変恵まれた環境に住んでおります。おかげさまで、今回ダブル受賞し、有り難うございました。表彰状の中に自分の作品が印刷されているのは、ここが初めてではないかと思えます。大切にしたいと思えますので、今後も継続していただければと思えます。有り難うございました。

(事務局)

以上で、表彰式を終わります。表彰者が退出されますので、今一度大きな拍手をお願いします。

3. 経過報告

(事務局)

経過報告の前に、皆さんのお席に、完成した「多摩川の歌」DVDを一足早くお配りしましたので、後ほどゆっくりとご覧ください。それでは、1月以降の当フォーラムの活動につきましては、経過報告の番号で(1)番から(9)番に記載しております。(10)番から(11)番は当面の予定につきまして、ご報告させていただきます。それでは、はじめに(5)番についてFNNのニュース番組で放映された映像、(6)番については、多摩ケーブルテレビのニュース番組で放映された映像を予定しておりましたが、明日に順延となってしまったため、急遽事務局が編集したビデオを写しますが、映像が暗い部分があると思えますのでご容赦くださいませ。それでは、後方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

ここまでで、何かご質問はございますか。経過報告を続けます。

(1) 第9回企業フィランソロピー大賞「特別賞：水辺のコミュニティ創造賞」受賞式(2/16)【資料1】

【資料1】をご覧ください。フォーラムの取組みが評価され、このたび、日本フィランソロピー協会の「第9回企業フィランソロピー大賞」贈呈式の席上で、フォーラムの事務局を務める青梅信用金庫が特別賞：水辺のコミュニティ創造賞を受賞することができましたので、ご報告いたします。

(3) 多摩川夢の桜街道：桜の札所マップ完成(2/24)【資料3】

【資料3】をご覧ください。大多摩観光連盟と連携して、このたび桜の札所マップが完成しましたので、ご報告いたします。なお、このマップについては、今月中に全会員に配布させていただく予定です。この件につきまして、大多摩観光連盟 事務局次長の北田様より一言お願いいたします。

(大多摩観光連盟 事務局次長 北田 様)

本日は、専務理事・栗原の代理で参りました。お配りした多摩川夢の桜街道マップ

ですが、東京都観光財団の助成金を利用し、美しい多摩川フォーラムとの共同事業として完成させました。中身をご覧くださいますと、札所の写真、場所、問合せ先等が記載されています。2月26、27日に開催された新宿パネル展において、このマップを配布したところ、来場者に大変好評をいただきました。当連盟でも、色々な場所で観光PRをしておりますが、このマップを活用して、観光客を多摩川流域に誘致したいと考えております。

(4) 東北・夢の桜街道:桜の札所マップ、小冊子完成(2/24)【資料4】

【資料4】をご覧ください。「東北・夢の桜街道」事業の一環で、このたび桜の札所マップ、小冊子が完成しました。今月中に、フォーラムの全会員に発送する予定です。

(5) 東北・夢の桜街道推進協議会(美しい多摩川フォーラム)主催「東北・夢の桜街道～

桜の札所・八十八ヵ所巡り」パネル展(2/26～27:新宿西口広場イベントコーナー)【資料5】

【資料5】をご覧ください。先般、2月26日～27日の2日間に亘り、新宿西口広場のイベントコーナーにおいて、東京都の後援で、「東北・夢の桜街道」の桜の札所の写真パネル展を開催し、「東北・夢の桜街道」を大いにPRいたしました。併せて、「多摩川夢の桜街道」のパネル展示によるPRも行い、来場者には、「東北・夢の桜街道」の小冊子を贈呈し、アンケートにご協力いただいた方には「東北・夢の桜街道」および「多摩川夢の桜街道」の桜の札所マップを差し上げ、大好評のうちに幕を閉じました。2日間の来場者数は7千人を超え、アンケート協力者も500人を越えるなど、この手のイベントとしては、異例の数字となりました。また、「東北・夢の桜街道」の公式ガイドブックも予想を大きく上回る100冊近く売れ、発行先の三栄書房様も反響の大きさに驚いておりました。公式ガイドブックは、2月24日から全国の書店で販売されています。イベントにご後援いただいた、東京都産業労働局 観光部振興課 上本様に一言お願いいたします。

(東京都産業労働局 観光部振興課 上本様)

本日は、部長 横山の代理で参りました。都庁のすぐそばの、新宿駅西口でのイベントということで、少しお邪魔させていただきました。東北の札所の写真は、今までリーフレットでは拝見しておりましたが、パネル大になると、より迫力がありました。今回のイベントも後援させていただきましたが、東京都では、都民の皆さんが被災地にご旅行される際、助成させていただいており、少しでも東北復興の支援ができればと取り組んでおります。フォーラムでも東京都と同じ想いで復興支援をされていることは、素晴らしいことだと思います。

(6) 食と文化の交流イベント(農林水産省関東農政局平成23年度食と地域の交流促進対策交付金事業、2/28:立川グランドホテル)【資料6】

【資料6】をご覧ください。さきほど、ビデオでご覧いただきました通り、イベントを開催いたしました。第1部では、まず小澤実行委員長にご挨拶をいただき、酒井様にお話をいただきました。そして、平野副会長のご説明のあと、お弟子さんによる「語り」が披露されました。第2部では、澤田アドバイザーによる説明のあと、出席者全員で試食会を行いました。本件については、去年の今ごろ、平野副会長から事務局に提案があり、実施をすることとなりました。この件につきまして、平野副会長より一言お願いいたします。

(平野副会長)

この事業は、2年間にわたって交付金をいただきながら実施するものです。1年目は「とにかくやってみよう」ということで、色々トライアルをし、中間発表を行いました。結果として、冒頭から最後に至るまで、大変良いレベルでできていたのではないかと思います。また、その良いレベルを保つための準備では、「語り」のチームの中でもバトルが繰り広げられ、もみ合ったため、良いものが出来上がりました。この熱を継続し、来年は完成度の高い発表ができればと思っています。試食会の際、様々な方の意見を聞きましたが、観光のプロの方から「その地域に行って食べてみようという気持ちになるイベントだった」との感想をいただき、安心しました。「語り」というものが、聴いて楽しむという、単なる鑑賞の対象だけではなく、地産地消と「語り」をセットにして奥多摩の観光事業の活性化につながれば良いと思います。

試食の中で、府中の青木屋さんが開発した桜スイーツの紹介があり、桜の塩漬けが乗ったクッキーを食べました。初めて知ったことですが、プロというのは、試作品の段階で、販売できるかもしれないというレベルまでこぎつけた上で、1ロット(400個)を一度に作るのだそうです。その400個のうち、100個は試食会で配られ、残りの300個は青木屋さんの8店舗の販売員、工場の人たちに食べてもらい、「これはいける！」とお墨付きをもらったそうです。中身はこれで行くとして、実は、試食会の際、「語り」のメンバーからパッケージに関する多くの駄目出しがあったため、もう一度練り直し、完成度を高めるとのことです。来年度が楽しみです。今後、このスイーツを販売していく上で、「多摩川フォーラムが作った」という意味を、パッケージの中にどう組み込んでいくかについては、きちんと話し合っておく必要があると思います。これはお弁当についても同じことが言えると思います。「語り」については、芸術性の高いものにしていきたいと思っています。

(事務局)

有り難うございました。奥多摩郷土弁当については、ある程度のレシピが出来上がっています。桜スイーツに関しては後発となっており、青梅市の東洋米菓さんと府中市の青木屋さんが別々に開発を進め、平成24年度に完成発表をする予定です。文化についても、来年度に完成する予定です。なお、アンケート結果は現在集計中です。

(7) 東北・夢の桜街道ホームページ完成(3/1)【資料7】

【資料7】をご覧ください。「東北・夢の桜街道」を広くPRするため、専門のホームページを開設いたしました。コンテンツにつきましては、「東北・夢の桜街道」の公式ガイドブックを発刊された三栄書房様の多大なご協力をいただきました。なお、トップページ下の観光関連企業のボタンをクリックしますと、「東北・夢の桜街道」に関する旅行商品や個人向けのWEB申込みにつながり、札所巡りをサポートします。

また、3月21日より新たなサービスを導入します。内容については、アルピン株式会社の吉澤様にご説明をお願いします。

(アルピン株式会社 吉澤様)

最近、携帯電話よりもスマートフォンのほうが使用率が高まっていますので、今回、スマートフォン用のアプリを開発いたしました。いま、スマートフォンをお使いの方はいらっしゃいますか？(2名が挙手。)ダウンロードしたアプリをタップすると、ソフトが立ち上がります。「桜の札所一覧」では、八十八カ所すべての札所を紹介しています。札所のどれかを選択すると、公式ガイドブックと同じ内容を閲覧することができます。このアプリの特徴として、皆さんが札所を訪れた記録を残していただけるようになっています。「チェックイン」ボタンを押すと、札所に桜マークが付き、どこを訪れたか分かるようになっています。そのほかにも、「札所マップ」を閲覧することもできますし、訪れた札所の写真をアルバムとして保存する機能も付けています。また、アプリケーションの説明ページには、協議会の設立趣旨なども掲載しており、「東北・夢の桜街道」を知らない方にもPRできるようになっています。このアプリは、アンドロイド版と、iphone 版で開発され、3月21日からダウンロード可能になりますので、スマートフォンをお使いの方は、ぜひダウンロードしてみてください。

(事務局)

有り難うございました。本日オブザーバーでご出席いただいているアルピン株式会社様は、フォーラム設立当初からの会員でもあり、今回この運動に賛同され、無償でアプリ開発にご協力をいただきました。

(8) 多摩川夢の桜街道 専門ホームページ大幅見直し完成(3/3)

こちらにつきましては、桜の札所の紹介ページにあったスケッチ画に替え、実際の写真掲載を求める声が寄せられる中、このたび、23年度事業計画として、見直しを行いました。このほか、札所の紹介文についてもリニューアルしたほか、日本画による桜のアートギャラリーも開設しましたので、ぜひご覧くださいませ。

(9) 第4回美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展&野尻明美氏の淡彩スケッチ原画展

(3/6～11:青梅市立美術館)【資料8】

【資料8】をご覧ください。3月6日(火)から11日(日)まで、青梅市立美術館において「第4回美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展&野尻明美氏の淡彩スケッチ原画展」を開催しました。野尻明美様の「奥多摩の四季」を集めた作品の相乗効果もあって、6日間の短い開催期間ではありましたが、延べ540人もの来場者がありました。

以下、当面の予定について、簡単にご紹介いたします。

(10)多摩川夢の桜街道:桜の札所巡り事業【資料9】

①3/24:「“多摩川夢の桜街道”と語り会」

第1部:シンポジウム～細野助博会長、平野啓子副会長、ダニエル・カール副会長、

第2部:語り会～語り部・平野啓子副会長(調布市グリーンホール・大ホール)

②3/24:おおた さ・く・ら ういーく(スタンプラリー&ガイド付きウォーク～大田観光協会、
～4/15 美しい多摩川フォーラム、はとバス)

③4/4:多摩川夢の桜街道“美しき桜心の物語”の語り会(十五番・妙法寺(世田谷区)
～語り部・平野啓子副会長)

④4/5:桜ウォーキングⅠ:ガイド付き桜の札所巡り(野川沿いの紅枝垂れ桜・都立武蔵野
公園・都立野川公園～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守)

⑤4/6:桜ウォーキングⅡ:駅からハイキング(羽村・福生～美しい多摩川フォーラム、
JR東日本、西武鉄道、多摩モノレール)

⑥4/13:桜ウォーキングⅢ:ガイド付き桜の札所巡り(多摩森林科学園～美しい多摩川
フォーラム、クラブツーリズム、大谷桜守)

⑦4/18:桜ウォーキングⅣ:ガイド付き桜の札所巡り(広徳寺・光厳寺・龍珠院～美しい
多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守)

(11)東北・夢の桜街道:桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)【資料10】

第1回“美しき桜心の物語”の語り会(一番・三春滝桜～語り部・平野啓子副会長)

事務局からの報告は以上です。

(細野会長)

事務局からの経過報告で、何かご質問、ご意見などございますか。ないようですので、本日の協議事項に入ります。

4. 協 議

(細野会長)

それでは第1号議案の「平成23年度事業計画決算見直し(案)」について、事務局の方からご説明をお願いします。

・第1号議案:平成23年度事業計画決算見直し(案)【資料11】

(事務局)

【資料11】をご覧ください。こちらについては、1月26日の運営委員会でご承認いただいた内容と大きな大差はありませんが、それ以降に修正があった点、ならびに修正予算と見直しに差があるものについて説明をさせていただきます。

まず、支出の部ですが、「運営費」の中に「ホームページ見直し」がございます。こちらについては、修正予算 576,000 円から見直し 690,000 円に上振れしております。これは、「多摩川夢の桜街道」専門 HP を見直す際に、内容の一部を充実させたため、費用が上振れとなりました。次に、「活動費」の「夢の桜街道・札所巡り事業」ですが、修正予算 620,000 円に対し、見通しが 788,064 円となっております。これは、桜の札所巡り&「語り」公演のパネル・チラシ費用の追加となります。次に、「美しい多摩川クリーンキャンペーン」ですが、70,000 円の予算に対し、見通しが 9,960 円となっております。これは、昨年度作成したパネルを今年度も流用したことにより、パネル製作費が軽減されました。次に、「美しい多摩川フォーラムの森づくり」ですが、修正予算 2,600,000 円に対し、見直し 2,123,792 円となっております。これは、看板の設置費用が大幅に安くなったため、下振れしております。次に、「環境シンポジウム」ですが、予算 300,000 円に対し、見直しは 0 円となっております。これは、震災の影響で行政との日程調整が折り合わず、今年度は未実施となりました。次に、「中学生対象総合教育文化事業」ですが、予算 200,000 円に対し、見直し 40,000 円となっております。これは、当初数校での実施を見込んでいたところ、最終的に、あきる野市増戸中学校1校のみでの開催となったため、下振れしています。次に、「東北・夢の桜街道プラン」ですが、修正予算 1,700,000 円に対し、見直し 2,154,246 円となっております。これは、10月1日にプランの公表をしたところ、大変反響が大きく、急遽ポスターやチラシを大幅に増刷し、東北をはじめとする全国各地に配布したためです。また、東北・夢の桜街道推進協議会に 1,500,000 円の拠出をいたしました。この協議会は、昨年12月1日に設立され、今後、フォーラムが行う東北案件については、この協議会を通して事業を実施していく予定です。

事務局からの説明は以上です。細野会長よろしくお願ひいたします。

(細野会長)

当初予算より約 3,000,000 円上積みされた形ですが、活動が充実してきたという証拠ではないかなと思います。この件につき、何かご質問やご意見はございませんか。ないようでした

ら、第1号議案について、ご承認いただけますでしょうか。(拍手)有り難うございます。では、第2号議案の「平成24年度事業計画・同予算(案)」について、事務局の方からご説明をお願いします。

・第2号議案:平成24年度事業計画・同予算(案)【資料12】

(事務局)

【資料12】をご覧ください。まず、収入として、会費を1,900,000円を想定しております。寄付金は、青梅信用金庫様より8,000,000円、交付金は、農林水産省関東農政局より2,200,000円、前期繰越金(見込額)は1,609,230円となり、合計は13,709,230円となります。

一方、支出の部ですが、運営費として、総会350,000円他、3,250,000円となり、活動費として、夢の桜街道・札所巡り事業650,000円他、9,780,000円となります。なお、この9,780,000円には、食と地域の交流促進対策事業の2,200,000円、東北・夢の桜街道プランの1,700,000円が含まれております。この1,700,000円については、1月26日の運営委員会でご承認をいただいた金額と同じですが、東北復興支援事業については、東北・夢の桜街道推進協議会を通じて行いますので、そちらにいったん拠出をさせていただくこととなります。なお、活動費の中ほどにある、「多摩川“水”大学講座」は、新規の事業案件となります。

次ページをご覧ください。平成24年度事業計画(案)の実施内容についてですが、基本的には継続事業となりますが、「環境」の⑦にある、「多摩川“水”大学講座」は新規事業となります。この事業は、かねてより下重部会長から「ぜひ小倉副会長に環境講座を開いていただきたい」と事務局に提案があり、2か月前には下重部会長同席のもと、小倉副会長にご相談を申し上げたところ、ご快諾をいただきました。調布市さんにもご共催いただき、会場も確保することができました。講座内容は、水に関する知識全般を総合的に身に付け、水に関するリーダーを育成することを目指しています。4月上旬には、調布市の広報に募集が掲載され、フォーラムのホームページでも募集を開始します。この件につき、小倉副会長より一言よろしく願いいたします。

(小倉副会長)

5月～11月までの6回シリーズで、水に関する、なるべく分かりやすい講座を開設する予定です。地元の日野では、市民環境大学を全20回でやっておりますが、その中から水に関するものを6回に絞って話していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。この講座には、事務局でも参加したいと思っておりますので、

よろしくご指導をお願いいたします。

次ページをご覧ください。平成24年度事業計画(案)の趣旨説明です。こちらについては、後ほどお目通しくださいませ。

次ページをご覧ください。こちらは平成23年度活動実績&今後の予定です。振り返ると、1年間フルに活動していることが分かります。以上で事務局からの説明を終わります。細野会長、よろしくをお願いいたします。

(細野会長)

会義終了まで若干時間がありますので、平成24年度事業計画について、皆さんから忌憚のないご意見を伺いたいと思います。

((公財)東京都農林水産振興財団 花粉の少ない森づくり運動担当課長 松川 敦 様)

私どもの事業の関連で、昨日決定したものがあるので、ご報告させていただきます。当財団では、「森づくり支援倶楽部」という任意の団体を用意しています。当財団の花粉のメンバーがこの組織の事務局を担っておりますが、この団体では、個人会員様より年会費3,000円、法人会員様より年会費50,000円をいただき、東京の森づくりにご支援をいただいておりますが、このたび、企業の森にご参加いただいている企業・団体様においては、負担が一切かからない特別会員という枠を設けさせていただきました。美しい多摩川フォーラム様におかれましても、「森づくり支援倶楽部」の特別会員という形でご加盟いただければと思います。

(細野会長)

これは決議や了承をいただかないといけないのですか？

(事務局)

急遽お話をいただいたことなので、事務局でも資料を拝見し、咀嚼した上で、次年度にお謀りすべきことであればお謀りすることで対応させていただきたいと思います。

(細野会長)

他にご意見はございませんか。

(下重部会長)

海の森はどうなっていますか？

(松川様)

海の森に関しては、東京都港湾局が所管しており、森づくりを進めています。当財団は、

東京都産業労働局と協力し、多摩地域の森づくりを進めています。東京都全体では、「緑の東京募金」という取り組みをしており、その中の取り組みのひとつとして「海の森」、「花粉の少ない森づくり」があります。

(細野会長)

有り難うございます。他に何かございませんか。

(平野副会長)

現在、東北の支援も始まり、防災に関しても関心が高まっていますが、多摩川は、河の氾濫や土砂災害と密接な関わり合いがあると思いますし、地震が起きた際、海の水が河の中流域まで逆流する危険もあります。美しい多摩川フォーラムでも、防災という視点を、厚みを持たせて取り組んでも良いのではないかと思います。あまり予算がかからない形で、折に触れ機会を設け、いざという時の備えに繋げることができればと思います。

またこれは、ひとつの提言としてお聞きいただきたいのですが、「教育文化」がひとつにまとまっていますが、「教育」も大きい分野ですし、「文化」も生活文化や芸術文化など、こちらも大きな分野です。地域づくりの団体ですと、「文化」と言った時、生活文化が主になってくる気がしますが、最近では、地域貢献活動にも芸術性が有効であるという世の中の動きもあります。現在、沢山のことに取り組んでいるので、今すぐには無理かと思いますが、当フォーラムが先駆けて「芸術」というカテゴリを目に見える形にしたらどうかと思います。

(細野会長)

今の件について、事務局から回答をお願いできますか。

(事務局)

急なお話なので、すぐにお答えすることはできませんが、1年前、平野副会長から「多摩の物語」の提案があり、その中に防災のことも書かれていました。フォーラム・アドバイザーで、下流域に住んでいる、永島さんという方がいらっしゃる、地域史の研究者で、多摩川下流域の災害等には大変詳しい方です。そういった方にお話を伺いながら、次年度にキックオフすることも可能ではないかと思えます。

(山崎副部長)

芸術文化にはあまり縁がありませんが、防災の面では、普段から水難事故防止等、意識をして啓蒙啓発活動を行っています。フォーラムとして何かできるかという難しい話ですので、このフォーラムに加盟している各団体さんが、何ができるかを提案していくべきだと思います。場所によっても状況は変わります。青梅市のハザードマップを見ると、奥多摩湖が決壊すると、予想外の所まで浸水することが分かりますし、つい先日、東京湾の10メートルの

津波が、登戸まで上がってくるということが分かりました。多摩川の上流と下流で状況はかなり異なるので、各団体が、あるテーマのもと、「こういうことを考えます、やってみたい」ということを話し合う機会があれば良いと思います。

(細野会長)

「防災」は一つのキーワードになるかもしれませんね。他に何かございますか。

(馬淵運営委員)

教育文化の事業で、「多摩川っ子」を発刊していると思いますが、これは年に何回、どういう形で発刊しているのですか。

(事務局)

年1回、7月(夏休み前)の発刊ですが、多摩川流域で水辺の活動をしている団体の情報を掲載し、小中学校に配布しています。

(馬淵運営委員)

啓発普及だと思いますが、我々財団でも、年4回「財団だより」を発行しております。この機関誌をもう少し発展させることによって、防災の話を盛り込んだり、フォーラムの会員に機関誌を配布したりすることも可能だと思います。啓発普及という面で、機関誌をもう少し発展させていくと良いのではと思います。多摩川の防災に関しては、京浜河川事務所がデータを出しておりますので、連携することもできるのではないかと思います。

(細野会長)

有り難うございました。では、第3号議案の平成24年度総会の開催日程等について(案)」を、事務局の方からご説明をお願いします。

・第3号議案:平成24年度総会の開催日程等について(案)【資料13】

(事務局)

【資料13】をご覧ください。平成24年度総会の開催日程等について(案)ですが、開催日は5月27日(日)の10時～11時半まで、会場は昭島市のフォレスト・イン昭和館です。以上、よろしく申し上げます。

(大多摩観光連盟 北田 様)

総会の日程について、お詫びをさせていただきます。当連盟では、5月26日(土)～27日(日)の2日間、東京サマーランドにおいて、東京発のB級グルメ大会を開催する予定です。そのため、当連盟は、総会に欠席をさせていただきますので、ご了承いただけます。

ればと思います。本日、B級グルメ大会のパンフレットをお持ちしましたので、後ほどお目通しください。

(細野会長)

27日(日)は当フォーラムとかち合ってしまうということですね。他に何かございませんか。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。以上で、3つの議案が全て承認されましたので、協議事項を終わります。

5. 総括

(細野会長)

事務局の努力もあり、ここまでやってまいりました。認知度も上がっておりますので、今後色々ところで期待が出てくるとは思いますが、引き続き、事務局には音を上げないで頑張ってもらいたいと思いますし、運営委員の皆さんにもお手伝いいただきたいと思います。

今日は「多摩川の歌」のDVDをいただきました。歌詞に「人々の心ゆるくむすんで・・・」とありますが、これは我がフォーラムの一大精神ではないかなと思います。ぜひ皆さんも心に刻んで、今後もこのフォーラムを支えていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。では最後に、副会長の皆様に一言ずつご挨拶をいただきます。

(小倉副会長)

今年度も、盛り沢山の行事が滞りなく終了します。来年度も、東北復興支援の活動が予定されています。それらを成功裏に終わらせ、東北復興に貢献できればと思っています。よろしく願いします。

(平野副会長)

このフォーラムは、全国各地、あるいは世界に誇れる団体だと思っています。この団体の活動が、ますます充実するよう、皆で力を合わせて、「心をゆるくむすぶ」ことをなるべく心掛けながら、頑張りたいと思っています。

先ほど言い忘れたことがございました。「食と文化の交流イベント」で試食したお弁当は、味に変化もあって、本当に美味しかったです。きっと来年度は、素晴らしいお弁当が皆さんの口に入るのではないかとと思っています。

(山崎副部長)

3月11日に、当フォーラムの協賛を得て、多摩川で灯籠流しを行いました。18時半から1時間のイベントでしたが、700人集まりました。対岸の調布市では、1200人集まったそうです。それだけ、皆がこの日は何かをやりたかった、気持ちを届けたかったんだと思いました。イベント当日、募金を行いました。集まったお金をもとに、津波で飼っていた魚を失った人々

のために、魚を届けに行こうと思っています。

6. 閉 会

(森田副会長)

毎回この運営委員会に、大変お忙しい中をご出席いただき、誠に有り難うございました。本日も充実した会議ができたと思っております。

個人的な報告で恐縮ですが、今月の3月6日に、金融庁からの命令で、講演をするため、名古屋の「ウィルあいち」に出張してまいりました。話の内容としては、青梅信用金庫としての事業の活性化の話、そして、実はこちらのほうが熱が入ってしまいましたが、フォーラムの話をしてきました。参加者は金融関係者約400～500名、またパネル・ディスカッションでは、大学の先生、金融庁の方、経済同友会、新聞社の方もいらっしゃいましたが、フォーラムの話をするると皆ポカンとしていらっしゃいました。「何で信用金庫がそんなことをバックアップできるのか」とおっしゃいました。何故かと言えば、皆さんご承知の通り、こうした連携ができること、また、会員の皆さまや役員の皆さまの地域に対する想いや社会貢献の志が集まっているからこそできるのだと思っています。大変有り難いと思っています。フォーラムの話をしたら、皆さんから「ノウハウを教えてほしい」と言われましたが、胆の部分は教えませんでした。「連携は良いんじゃないですか、ぜひ一緒にやりましょう」とだけは申し上げておきました。

最後に感想をひとつ。平野副会長が「美味しかった」とおっしゃっていたお弁当を、ぜひ私も食べたかったなと思います。来年度、完成品ができた際にはぜひ私もいただきたいと思っています。

改めまして、本日はお忙しい中、ご出席をいただき、有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)